人生は長い。だからこそ考えたいのは

健康寿命。

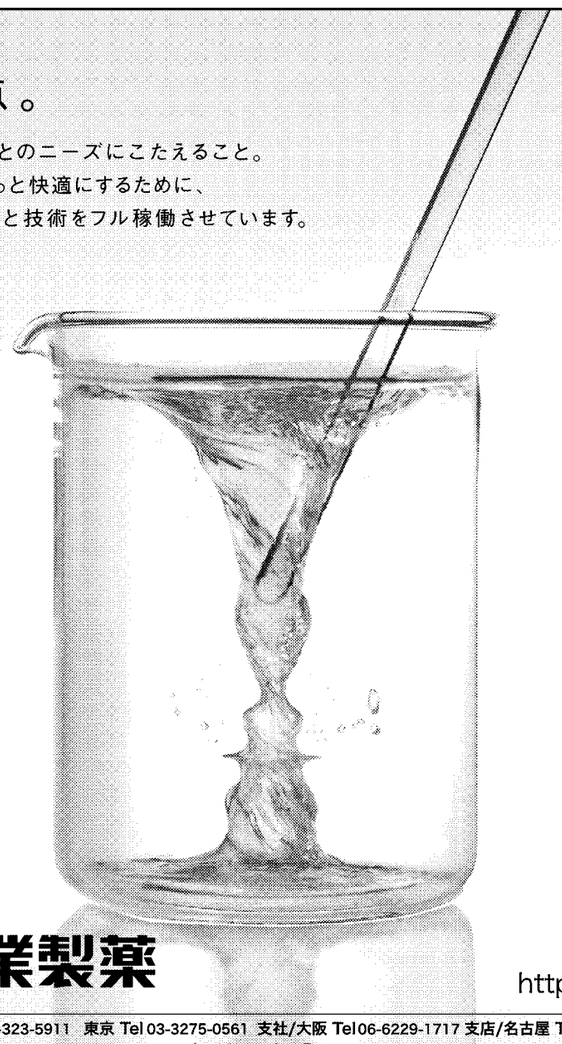
日本新薬は、一人ひとりの命のために、健康寿命が延びる、

そんな未来のために、新しい薬を創っています。

健康未来、創ります
日本新薬
NIPPON SHINYAKU CO., LTD.
http://www.nippon-shinyaku.co.jp

ひとが、原点。

我々の役割のすべては、ひとのニーズにこたえること。
環境を、暮らしを、未来をもっと快適にするために、
ひとを原点に考え、創造力と技術をフル稼働させています。



主要製品
【機能化学品】
非イオン活性剤
アニオン活性剤
カチオン活性剤
両性活性剤
ショ糖脂肪酸エステル
CMC
ポリビニルピロリドン
ポリアクリルアマイド
産業用脱臭剤
【樹脂材料】
水系ウレタン樹脂
難燃剤
ポリエーテルポリオール
ウレタンプレポリマー
ウレタンシステム
【電子材料】
光硬化モノマー・オリゴマー
イオン液体、導電性ペースト
セラミックス有機材料

第一工業製薬　http://www.dks-web.co.jp/

第一工業製薬株式会社　本社/京都 Tel 075-323-5911　東京 Tel 03-3275-0561　支社/大阪 Tel 06-6229-1717 支店/名古屋 Tel 052-571-6331　九州 Tel 092-472-6353
機能化学品営業部：界面活性剤 Tel 03-3275-0564/06-6229-1593　生活・食品 Tel 03-3275-0568/06-6229-1594
樹脂材料営業部：ウレタン Tel 03-3275-0579/06-6229-1597　水系ウレタン Tel 03-3275-0579/06-6229-1595　難燃剤・樹脂添加剤 Tel 03-3275-0570
電子材料営業部：電子材料 Tel 03-3275-0563/06-6229-1595　AM製品 Tel 03-3275-0563/06-6229-1595

京都の活力もっと引き出す

人づくり推進

府内地銀トップに聞く

京都銀行は金融サービスの基盤となる人づくりを強化している。若手行員を1年間現場での業務から外し、法人営業などの基礎教育を徹底する研修も始めた。金融機関の競合が増している中にもかかわらず、現場の要員を割いてまで教育を優先するのはなぜなのか。髙﨑秀夫頭取に研修の内容や狙いを聞いた。

法人営業の能力強化へ

若手行員90人、1年間研修

京都銀行 頭取
髙﨑 秀夫氏

―若手行員の新たな研修は、どのぐらいの規模になりますか。

「入行3年目や4年目の一部行員を対象に、2011年度からスタートした。推薦などで選抜した30人を支店などの現場から本部の所属に移し、1年間しっかりと基本を教え込む。当面は11年4月にスタートした第4次中期経営計画が終わる13年度まで続ける。3年間で90人に上り、3億円程度の人材投資になる」

―研修の主な内容は。

「顧客への融資を中心とする法人営業になる。主要な顧客への理解やつながりを深めるためにも欠かせない。講師には支店長経験者などのベテラン6人を配属した。研修生は勉強に次ぐ勉強、に専念することになる」

―支店勤務では学べないのですか。

「年に30人といえば2支店分の人員にあたる。現場にとっては戦力減で痛い。しかし、預金獲得や住宅ローン販売の業務に忙しい支店では、実地訓練だけで法人営業を身につけるのは難しい」

―そこまで徹底する理由や、研修生への期待は。

「当行は若返りを進めるため新卒採用を増やしてきた結果、20代の行員が半分以上を占めるようになった。地域金融のライバルである信用金庫は現場に30―40代の強力なベテランが多い。若さのエネルギーはあるが経験不足を研修で補い、今後は主要支店などでライバルと戦ってもらう。彼らには将来リーダーになってほしいが、研修後は本人の意欲次第だ」

―若手以外の教育も充実させています。

「専門職や管理職を養成する常設部署の『金融大学校』を10年に開設した。中国や東南アジアでの顧客サービス拡充に備え、現地の銀行に研修員を常時5人程度派遣もしている。行員には『中国も東南アジアも国内と思え』と、グローバル化を受け止める心構えを説いている。地銀も海外業務の経験や知識なしには、大型支店の支店長が務まらない時代だ」

「ニッチトップ」創出へ

ネットワークで中小支援

KRPが電機・エネ分野中心に

「ニッチ・トップ」を目指せ！。京都リサーチパーク（KRP）は電機・エネルギー産業を中心に、ニッチ（すき間）市場で高シェアを握る中堅・中小企業の創出支援に取り組んでいる。KRPが産学官に張り巡らすネットワークを強みに、市場・技術動向の研究会や異業種交流を実施し、企業の新事業進出を促す。中堅・中小を活性化し、厳しい経営環境の打開や地域経済の再生に結びつけるのが狙いだ。

この支援策名は「イノベーション・イニシアティブ」。経産省からの受託事業で2011年度に始め、2年目を迎えた。11年度には機能メッキ、印刷と電子の融合技術、電子応用製品がテーマ。12年度は印刷・電子融合技術とエネルギーで、前者はタッチパネルや配線、表面処理、後者は直流・交流変換の絶縁やエネ関連の精密加工などを想定している。

9月14日にKRPで第1回研究会を開き、約150人もの意欲的な企業関係者らが参加。大手企業や公的研究機関の技術者が印刷・電子技術、省エネ、太陽光発電などを題目に講演し、終了後の交流会も盛り上がった。

10月25日にはテーマ別の第2回研究会も開催し、専門性を深めた。

木村千恵子産学公連携部長は「支援候補の企業リストは関西を中心に約1000社に上る」と強調する。京都府・京都市やオール関西の支援機関、アジアなど海外研究機関とのつながりを最大に生かし、参加企業には協業先を橋渡しする。

中堅・中小の技術力をモノづくりの高度化に期待する大手も多数、顧客やアドバイザーの立場から参加している。「気軽に情報交換できるサロンのような交流の場所にしたい」（木村部長）。

成果も生まれ、研究会の企業同士が意気投合して経産省の「戦略的基盤技術高度化支援事業」に共同申請し、これまで3件の採択に結びついた。実際に市場シェア50％以上を握り、ニッチ・トップのモデルとなる関西の企業15社を経営者の経営哲学とともに紹介する事例集も3月に作成した。

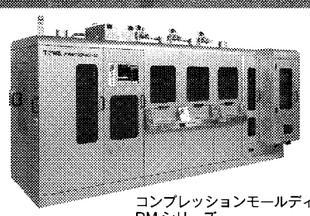
多額な資金投入による従来型の開発支援とは異なるネットワークの力で経営意欲の向上や新事業開拓を促し、地域産業のサポートにつなげる。

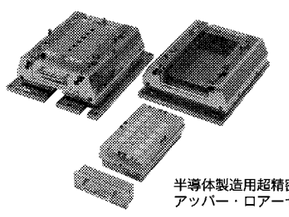
▲KRPで開かれ、大盛況だった第1回研究会（12年9月14日）

醍醐寺 五大力尊像

京都発 世界へ

半導体モールディング装置
世界シェア NO.1 ※当社調べにより


コンプレッションモールディング
PMシリーズ

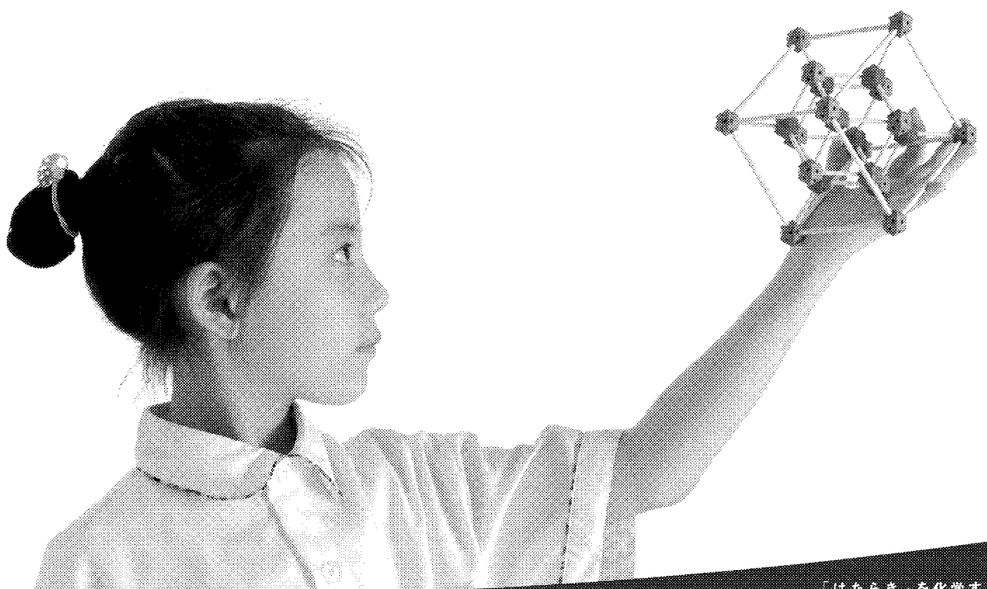

半導体製造用超精密金型
アッパー・ロアーセット

真価に挑む

TOWA株式会社　〒601-8105 京都市南区上鳥羽上調子町5番地
TEL.(075)692-0250　FAX.(075)692-0270　http://www.towajapan.co.jp

「はたらき」を化学する

人と地球の未来に役立つ、夢あふれる化学品を生み出したい。
もっと快適に、もっと地球にやさしく・・・
その想いを胸に「はたらきの化学品（パフォーマンス・ケミカルス）」を開発し続けています。
今より、もっと素敵な明日をみつめて、チャレンジを続けます。



本社／〒605-0995 京都市東山区一橋野本町11-1
http://www.sanyo-chemical.co.jp/
「はたらき」を化学する
三洋化成工業株式会社